

環境・自然

基本キーワード 「水・山林・農地」

付帯キーワード 「楽しむ・守る・創る」 → 「増やす・活かす・残す」

キーポイント 天山の甘露水を宝の海・有明海まで・・・

天山山系から有明海まで水でつながった小城市→棚田・蛍・鯉料理・酒・羊羹・素麺・サイダー・かまぼこ・農作物・海苔・・・全て水が命です。これらを輝き続かせるためには、水を守ることが大切です。

〈いま〉自然風景や、大切な食べ物に大きく関わる「水」は、いつも澄んでいるのでしょうか？棚田やみかん山等の農地の放棄、コンクリートの風景、そして、危険であることのみ敏感になり、自然を楽しむことのできない子どもたちが増えているのではないのでしょうか？

《提案》有明海が本当に大切な宝の海であることを知ること。大切な自然を守るため、一人ひとりがゴミを捨てたりしないこと。有明海から天山を、天山から有明海を眺める、そこに見える素晴らしい小城市の風景を、守り、創り、楽しみ、活かす。そして、いつも笑顔で過ごせる環境を小城市はもつことができるはずです。



こんな議論から具体的な

事業の展開へつなげていきます

天山から有明海にいたる地域が小城市の生活のサイクルのもとです。

山《天山》に雨が降り、その水が小城市内のいたるところを潤して、有明海へと注がれていきます。

水に関する自然は各地区にまだまだあるのではないのでしょうか？

《清水の滝》に代表される「滝」ですが、山から流れてきているもの、湧き水からきているもの、まだ見たことのない、知らない「滝」がありそうです。

どこかに「湧き水」もあるかもしれません。

例えば・・・小城市内の滝、湧き水を探し、「水マップ」を作り、子どもたちとともに勉強していきたいものです。

『水』は、水害など怖い面もありますが、環境を創り守っています。

『水』は、農業だけではなく、鯉料理、酒、羊羹、素麺、かまぼこ、飲料水などの産業にも深く関わり、もちろん、海苔をはじめとする《有明海》の海の幸にも深く深く関わります。

河川工事についても、コンクリートの底盤を使うことにより水が湧き上がってこないことが生態系を壊し（ザリガニなど）、環境を悪化させることに繋がりがかねません。そういうことを考えた自然に優しい工事方法に目を向けることも必要です。

川の流れがどんなふうにも小城市内を流れているのかというような『水』に関することを、子どもにも大人にもわかって欲しい。

せっかく1つの市になったのですから、みんなが水で繋がっていることを確認しあいましょう。

